

寺
田
就
子



あそびと幻想

「寺田就子 | あそびと幻想」

Shuko TERADA solo exhibition

- 会期: 2017年2月15日(水)～3月18日(土)
- 開廊時間: 12:00-18:30
- 休廊日: 月火曜日
- 会場: GALLERY CAPTION
〒500-8846 岐阜市玉姓町3-12 伊藤倉庫 tel 058-265-2336 <http://www.gallerycaption.info/>
- アクセス: JR岐阜駅「北口」、名鉄岐阜駅より徒歩5分
- artist talk: 寺田就子×金井直 3月4日(土) 16:00-18:00 (申込不要)
金井直氏(信州大学人文学部准教授/元あいちトリエンナーレ2016キュレーター)を聞き手に、昨年開催された「あいちトリエンナーレ2016」での展示にもふれながら、本展について語ります。
- 同時開催: GALLERY CAPTIONのセカンドスペース「front」でも作品をご紹介します。
front 岐阜市金宝町2-9-1 (13:00- 19:00 2/15および木・土日のみオープン)
tel 058-263-7161 <http://front-caption.blogspot.jp/>
- お問い合わせ: 担当/ 山口 (月火曜日をのぞく 12:00-18:30) tel 058-265-2336 caption@mbe.nifty.com

寺田就子 | TERADA Shuko

寺田就子展「OPERA RED」

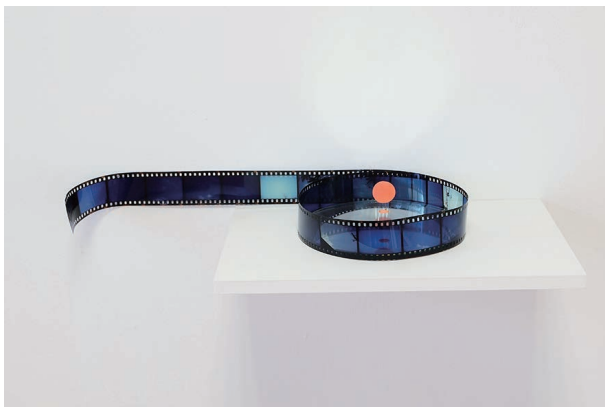
GALLERY CAPTION / 2016年11月19日～12月17日



展示風景



小学校2年生のときに描いた水彩画



「空気の厚み」
リバーサルフィルム、鏡、ガラス、スーパーボール、アクリル絵具、他
サイズ可変 2006年

- 1973 大阪府生まれ
- 1997 京都市立芸術大学美術学部美術学科版画専攻卒業

〈個展〉

- 1999 光の透きま (ギャラリー16/ 京都)
- 2000 中空宙 (ギャラリー16/ 京都)
- 2001 中空宙一 空浮 (ギャラリー16/ 京都)
- 2003 中空宙一 低空の中 (ギャラリー16/ 京都)
- 中空宙一 orangeade (ギャラリー16/ 京都)
- 2004 ㊦(空)㊧ (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2005 中空宙一10年後の記憶 (ギャラリー16/ 京都)
- 中空宙一 思い出す角度 (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2006 空をのぞく (ギャラリー16/ 京都)
- 澄んだにごり (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2007 ひとときの虹 (ギャラリー16/ 京都)
- 終わりの扉 (ギャラリーキャプション / 岐阜)
- 2008 窓ごしの空色 (iThohen/ 大阪)
- 2009 とろける光り (ギャラリー編/ 大阪)
- 水たまりにみた波の音 (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2011 曇り日の影 (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2012 影の隙間に眩う (ギャラリー16/ 京都)
- blue moment (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2013 雨滴のレンズ (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- ほのめく音色 (ギャラリーあしやシューレ/ 兵庫)
- 2014 あいまのいろざし (ギャラリー16/ 京都)
- 2016 OPERA RED (ギャラリーキャプション/ 岐阜)

〈主なグループ展〉

- 1995 Tabula rasa (京都市四条ギャラリー)
- 1996 全国大学版画展 (町田市立国際版画美術館/ 東京)
- 2000 IKIRO CAFE (ギャラリー16/ 京都)
- 2001 差の地図 (ギャラリー16/ 京都)
- SPACE 0~∞ 宇宙 (cafe etw/ 京都)
- 2002 THE BOOK/観賞週間 (ギャラリー16/ 京都)
- 2003 christmas show 2003 (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2004 京都府美術工芸新鋭選抜展～2004 新しい波～ (優秀賞)
- 2005 裏・アートマップ (京都芸術センター)
- 2006 ArtCourt Frontier 2006 (アートコートギャラリー/ 大阪)
- 2007 small-ness (Muromachi Art Court/ 京都)
- PARTY (LADS GALLERY/ 大阪)
- 2010 あいちアートの森-堀川プロジェクト (東陽倉庫テナントビル/ 名古屋)
- 宇宙民藝 (AAS/ 京都)
- 観○光 EXPO 2010(圓通寺/ 京都)
- 2011 通奏低音 (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 転置-Displacement (京都市立芸術大学ギャラリー)
- 2012 うつせみ (常懐荘/ 愛知)
- うたかた (アートラボあいち/ 名古屋)
- 2013 窓と物語 vol.2 (waitingroom/ 東京)
- 2015 篠原資明企画 超少女まぶさび宇宙-寺田就子・竹中美幸 (ギャラリーキャプション/ 岐阜)
- 2016 あいちトリエンナーレ2016 (栄会場、旧明治屋ビル/ 名古屋)

各位

謹啓 寒冷の候 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ギャラリーキャプションでは、2月15日より3月18日まで「寺田就子展 "あそびと幻想"」を開催いたします。

寺田就子(1973年大阪府生まれ)は、鏡やガラス、プラスチックなど、光りの透過と反射反映をとまなう素材と、文具や小さな玩具などの既製品とを組み合わせながら、光りの反射と陰影が織りなす現象、また時に錯覚的な見え方を通じて、虚と実のわずかなあわいに小宇宙を思わせる、奥行ある世界を表しています。昨年は「あいちトリエンナーレ2016」に参加し、旧明治屋ビルの場所性を活かしたインスタレーションが話題となりました。

昨年11月の当廊での個展「OPERA RED」では、作家自らがこれまでの制作を捉え直す機会として、あえて旧作のみで展示構成し、展覧会のはじめに小学校2年生のときに初めて描いた油絵と、下絵となった水彩画を据えました。「気に入ったものは残しておく」と話す寺田は、自分が作ったものに限らず、小さな小瓶に入ったビーズや時計など、親しんだおもちゃの類を今でも大切にしており、その一部をセカンドスペースのfrontで展示しました。それらは単なる"子どものころの思い出の品"を超えて、現在の寺田の制作の根底に大きく関わっていることが伝わるものばかりで、実際に作品だと受けとめている人も、多く見受けられました。小学生の頃の油絵も、おもちゃも、寺田に「選ばれて」今も手元にあるように、既製品を組み合わせて作品とする寺田にとって「ものを選ぶ」ことは、単に素材を選ぶこと以上の意味を含んでいることが、印象づけられました。

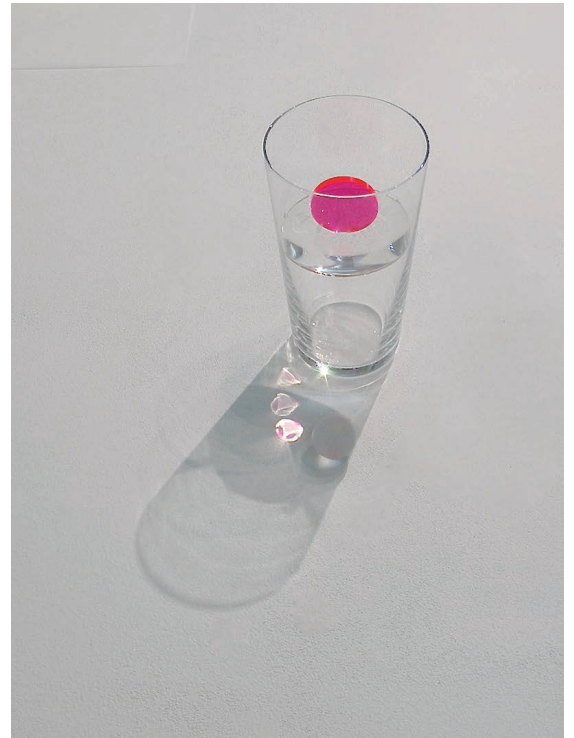
今回の新作展「あそびと幻想」では、幼いころから透明な素材に親しみ、ボタンやスーパーボールなどを覗きこんだり、光に透かしたり反射させて遊んでいたことへの興味が、今も変わらず制作へと向かわせていることに立ちかえり、寺田にとっての「おもちゃ箱」をひとつのイメージとして展開します。彼女が「もの」を通じて見てきた世界を、より深く掘りさげながら、ものそのものではなく、そこに漂う目に見えない気配と、幻影のように映り込む景色、そしてそれを観取している私たち自身の存在をも、浮かびあがらせるを試みます。

寺田が『目の前の道具を見ながらも、実際は何を見て考え遊んでいたのだろうかと思ひ出す』と語るように、素材の不思議さに触れながら、単に現象を追うことにとどまることなく、そこから空想を広げ、幻想のなかにひたり、またそこに在るものを別の何かに見立てて遊ぶこと、それは誰もが幼いころに持ち得ていた、見えないものが、自分だけに見える世界であり、密やかに満ちた豊かな想像力の表れです。展覧会では、作品を見ることを通じて、訪れたひとりひとりが、眼のなかに遊ぶための場が用意されることでしょう。

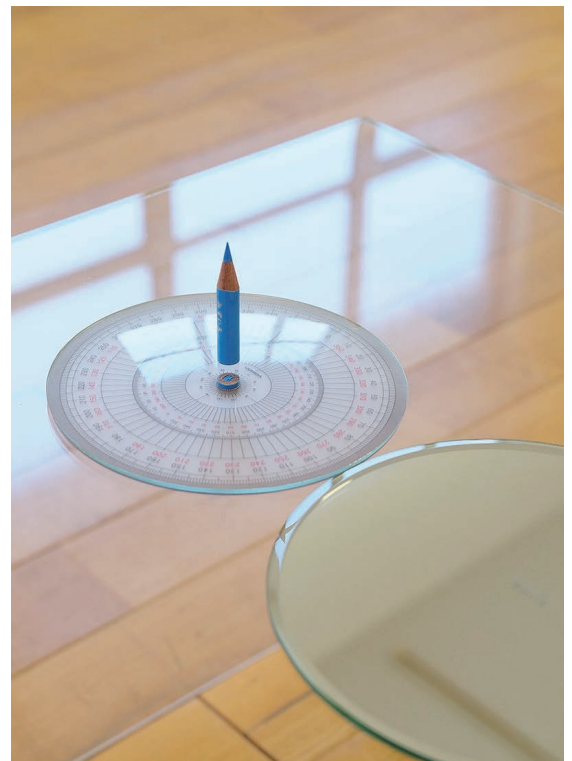
会期中の3月4日には「あいちトリエンナーレ2016」でキュレーターをつとめた金井直氏(信州大学人文学部准教授)を迎え、アーティスト・トークを開催いたします。トリエンナーレでの展示をふりかえりながら、本展について作家が語ります。

お忙しいことは存じますが、是非ご高覧賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具



「向かいあう光り 浮かびあがる影」(部分)
ガラス製品、プラスチック製品、アクリル板、鏡、布、電球、他
ミクストメディア・インスタレーション
2016年



「見下ろす空」(部分)
鏡、分度器、色鉛筆、ガラス 27.0×15.0×h5.5(cm)
2005年